2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上 場 会 社 名	株式会社網屋	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	4258	URL	https://www.amiya.co.jp/
代　　表　　者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	石田　晃太
問合せ先責任者	(役職名) 執行役員　経営企画部長	(氏名)	宮田　昌紀　　(TEL) 03 (6822) 9999
配当支払開始予定日	―		

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	5,320	26.3	1,030	29.6	1,024	29.5	702	30.6
2025年12月期第３四半期	4,212	21.9	795	117.6	791	109.9	538	101.5

(注) 包括利益 2026年12月期第３四半期　864百万円(　53.5%)　2025年12月期第３四半期　563百万円(　83.6%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	85.25	81.38
2025年12月期第３四半期	64.35	62.45

(注) 当社は、2025年７月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し，１株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	8,676	1,906	21.7
2025年12月期	6,940	2,833	40.8

(参考) 自己資本 2026年12月期第３四半期　1,885百万円　2025年12月期　2,829百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	15.73	15.73
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,850	32.2	1,470	39.8	1,444	37.7	1,003	33.4	121.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　有

新規　　１社（社名）　株式会社アンペール　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	8,830,400株	2025年12月期	8,830,400株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	772,991株	2025年12月期	316,596株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	8,243,702株	2025年12月期３Ｑ	8,363,032株

（注）当社は2025年７月１日付で普通株式１株につき２株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なることがあります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
（第３四半期連結累計期間） …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（第３四半期連結累計期間） …… 8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 9
（セグメント情報等） …… 9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間においては、AI技術の悪用により攻撃の自動化が進むなど、サイバー攻撃の高度化・多様化が一段と進んでおります。国内においてもランサムウェア等による被害が急増しており、個人情報の流出、サプライチェーンの寸断、生産・営業活動の停止など、企業の信頼や経済活動に大きな被害が生じております。こうした状況を受け、政府においても「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度」（SCS評価制度）の整備をはじめ、セキュリティ対策の強化に向けた取り組みが進められております。

このような事業環境のもと、当社のサイバーセキュリティ事業は好調に推移し、当第３四半期連結累計期間の売上高は前年同期比26.3%増の5,320,430千円、営業利益は前年同期比29.6%増の1,030,761千円、経常利益は前年同期比29.5%増の1,024,787千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比30.6%増の702,777千円となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

データセキュリティ事業

当第３四半期連結累計期間におけるデータセキュリティ事業は、相次ぐサイバー攻撃を受けたインシデント対応や、SCS評価制度への対応に関連した引き合いが増加し、大手製造業および大手IT企業などからの受注が堅調に推移いたしました。加えて、引き続きエネルギー産業や防衛産業からの受注も増加しております。さらに、主力のログ管理製品「ALog」は一度導入されると継続して利用される性質から、解約率は低水準で推移しており、安定的な収益基盤を形成しております。

この結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は前年同期比22.5%増の2,192,667千円、セグメント利益は前年同期比38.2%増の1,040,120千円となりました。

ネットワークセキュリティ事業

当第３四半期連結累計期間におけるネットワークセキュリティ事業は、クラウドシフトの拡大やランサムウェア対策ニーズの高まりを背景に、ネットワーク運用をまるごと提供する「Network All Cloud」が堅調に推移いたしました。また、戦略的資本提携先との製品供給も進展しております。国産SASEサービス「Verona」のブランディング・販売促進への投資を継続する一方、当第３四半期連結会計期間（７月～９月）のセグメント利益率は上期と比べて改善しております。

この結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は前年同期比29.1%増の3,127,762千円、セグメント利益は前年同期比18.4%増の826,372千円となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は8,676,289千円となりました。前連結会計年度末と比較して1,735,654千円増加しました。これは主に、株式会社アンペールの取得により、商品及び製品が195,457千円増加、原材料及び貯蔵品が508,063千円増加、その他流動資産が336,902千円及びのれんが269,185千円増加し、投資事業有限責任組合への出資により投資有価証券が683,143千円増加した一方で、自己株式の買付等により現金及び預金が815,384千円減少したこと等によるものです。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は6,770,065千円となりました。前連結会計年度末と比較して2,663,028千円増加しました。これは主に、社債の発行により社債が1,500,000千円増加、株式会社アンペールを連結子会社としたこと及びALogソフトウエアのサブスクリプション契約の堅調な推移に伴い契約負債が1,048,389千円増加したこと等によるものです。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産の合計は1,906,223千円となりました。前連結会計年度末と比較して927,373千円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が702,777千円増加、保有する投資有価証券の時価上昇に伴いその他有価証券評価差額金が160,266千円増加した一方で、配当の支払いにより利益剰余金が133,922千円減少し、自己株式の取得等により自己株式が1,689,414千円増加したこと等によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、2026年２月12日に公表いたしました2026年12月期の通期連結業績予想（以下「前回発表予想」）を2026年10月27日付の適時開示であります「2026年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」におきまして、以下のとおり上方修正いたしました。

① 2026年12月期 通期連結業績予想数値の修正（2026年1月1日～2026年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 7,002	百万円 1,200	百万円 1,188	百万円 850	円 銭 101.75
今回修正予想（B）	7,850	1,470	1,444	1,003	121.69
増 減 額（B－A）	848	270	256	153	―
増 減 率（%）	12.1%	22.5%	21.5%	18.0%	―
（参考）前期実績 （2025年12月期）	5,936	1,051	1,048	751	90.84

② 修正の理由

昨今、増加の一途を辿る、ランサムウェア等のサイバー攻撃による被害に対応するためのセキュリティ製品への需要、また被害を受けた企業からの復旧支援の需要の高まりにより、当社のデータセキュリティ事業およびネットワークセキュリティ事業がいずれも順調に推移し、売上高、営業利益ともに増加し、さらに営業利益率は当初想定を上回る見込みです。これにより、データセキュリティ事業の売上高が200百万円、ネットワークセキュリティ事業の売上高が220百万円増加し、両事業を合わせた営業利益は270百万円増加する見込みです。

また、2026 年５月13日に公表いたしました「株式会社アンペール株式の取得（子会社化）及び新たな事業開始に関するお知らせ」のとおり、連結子会社となった株式会社アンペールの損益計算書を第４四半期連結会計期間より連結することに伴い、売上高（428百万円）が増加する見込みです。

その結果、売上高、営業利益、経常利益および当期純利益のいずれも前回発表予想を上回る見込みとなりましたので、通期連結業績予想を上方修正するものです。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,561,892	3,746,507
受取手形及び売掛金	673,358	874,241
商品及び製品	―	195,457
仕掛品	80,659	279,463
原材料及び貯蔵品	410,483	918,546
その他	399,508	736,410
流動資産合計	6,125,902	6,750,626
固定資産		
有形固定資産	82,297	182,801
無形固定資産		
のれん	86,740	355,925
ソフトウエア	81,583	90,446
その他	1,885	1,842
無形固定資産合計	170,209	448,214
投資その他の資産		
投資有価証券	315,501	998,645
長期前払費用	13,236	32,179
繰延税金資産	111,877	111,402
保険積立金	43,939	48,031
敷金	62,128	41,741
その他	15,541	62,647
投資その他の資産合計	562,224	1,294,647
固定資産合計	814,731	1,925,662
資産合計	6,940,634	8,676,289

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	176,521	357,944
短期借入金	700,000	550,000
１年内返済予定の長期借入金	139,943	121,849
未払金	162,957	118,638
未払費用	174,142	165,887
未払法人税等	219,857	160,089
契約負債	2,059,339	3,107,729
賞与引当金	88,700	48,128
役員業績連動報酬引当金	22,400	13,561
従業員業績連動報酬引当金	14,000	9,357
その他の引当金	9,800	5,247
預り金	27,663	27,756
その他	104,889	56,167
流動負債合計	3,900,213	4,742,356
固定負債		
社債	－	1,500,000
長期借入金	92,063	386,888
長期未払金	38,400	38,400
退職給付に係る負債	70,927	94,076
その他の引当金	5,433	5,683
その他	－	2,661
固定負債合計	206,823	2,027,709
負債合計	4,107,036	6,770,065
純資産の部		
株主資本		
資本金	65,968	65,968
資本剰余金	902,467	919,181
利益剰余金	2,316,420	2,885,275
自己株式	△497,125	△2,186,540
株主資本合計	2,787,731	1,683,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,443	201,710
その他の包括利益累計額合計	41,443	201,710
新株予約権	－	8,854
非支配株主持分	4,422	11,772
純資産合計	2,833,597	1,906,223
負債純資産合計	6,940,634	8,676,289

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	4,212,801	5,320,430
売上原価	2,171,493	2,760,966
売上総利益	2,041,307	2,559,464
販売費及び一般管理費	1,245,894	1,528,702
営業利益	795,413	1,030,761
営業外収益		
受取利息	4,874	10,926
受取配当金	700	1,225
保険解約返戻金	1,401	973
助成金収入	134	13,953
受取手数料	3,919	1,456
その他	606	2,298
営業外収益合計	11,636	30,834
営業外費用		
支払利息	8,470	6,863
為替差損	2,159	2,366
自己株式取得費用	4,645	15,667
社債発行費	－	9,527
その他	268	2,384
営業外費用合計	15,544	36,808
経常利益	791,505	1,024,787
特別利益		
固定資産売却益	－	6
特別利益合計	－	6
特別損失		
固定資産除却損	561	1,198
その他	17	－
特別損失合計	579	1,198
税金等調整前四半期純利益	790,926	1,023,594
法人税等	252,767	319,160
四半期純利益	538,159	704,434
非支配株主に帰属する四半期純利益	－	1,657
親会社株主に帰属する四半期純利益	538,159	702,777

四半期連結包括利益計算書

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	538,159	704,434
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,054	160,266
その他の包括利益合計	25,054	160,266
四半期包括利益	563,213	864,701
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	563,213	863,044
非支配株主に係る四半期包括利益	－	1,657

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

１ 配当に関する事項

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額（千円）	１株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日
2026年３月26日定時株主総会	普通株式	利益剰余金	133,922	15.73	2025年12月31日	2026年３月27日

２ 株主資本の金額の著しい変動

（自己株式の取得）

当社は、2026年２月12日開催の取締役会決議に基づき2026年２月13日において、自己株式を303,200株取得しております。また、2026年８月12日開催の取締役会決議に基づき2026年８月13日において、自己株式を176,000株取得いたしました。この結果、当第３四半期連結累計期間において自己株式が1,689,414千円増加し、当第３四半期連結会計期間末において自己株式が2,186,540千円となっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	データセキュリティ事業	ネットワークセキュリティ事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	491,465	1,165,762	1,657,227	－	1,657,227
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	1,297,852	1,257,721	2,555,573	－	2,555,573
顧客との契約から生じる収益	1,789,317	2,423,483	4,212,801	－	4,212,801
外部顧客への売上高	1,789,317	2,423,483	4,212,801	－	4,212,801
セグメント間の内部売上高又は振替高	35,800	－	35,800	△35,800	－
計	1,825,118	2,423,483	4,248,601	△35,800	4,212,801
セグメント利益	752,747	698,226	1,450,973	△655,560	795,413

（注）１.セグメント利益の調整額△655,560千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

２.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間（自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	データセキュリティ事業	ネットワークセキュリティ事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	493,848	1,393,084	1,886,932	－	1,886,932
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	1,698,819	1,734,678	3,433,498	－	3,433,498
顧客との契約から生じる収益	2,192,667	3,127,762	5,320,430	－	5,320,430
外部顧客への売上高	2,192,667	3,127,762	5,320,430	－	5,320,430
セグメント間の内部売上高又は振替高	83,744	5,130	88,874	△88,874	－
計	2,276,412	3,132,892	5,409,305	△88,874	5,320,430
セグメント利益	1,040,120	826,372	1,866,492	△835,731	1,030,761

（注）１.セグメント利益の調整額△835,731千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

２.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
減価償却費	65,223千円	69,446千円
のれんの償却額	6,050千円	11,206千円